



民生安定部門
齊藤 洋美 さん
(西宮野目・68歳)

平成13年4月から花巻市食生活改善推進協議会副会長として、平成16年4月から平成24年3月までは会長として、市民の健康づくりを推進するための食生活講習会や食育講習会を市内全域で実践。また、協議会の合併に指導的な役割を果たし、平成18年4月に県内最大の会員約1,200人を数える花巻市食生活改善推進員協議会の設立に寄与しました。

さらには、平成21年8月に結成されたJ Aいわて花巻「花巻まんまーず」の代表として、食を通じて心身を健全に育む活動を意欲的に実施。また、食育や健康づくりなどの研修会への積極的な参加を指導し、会員の資質向上に努めるなど、永年にわたり市勢の発展と市民福祉の向上に寄与しました。



産業振興部門
平賀 巖 さん
(上根子・70歳)

平成15年11月、豊沢川土地改良区理事長に就任以来、卓越した指導力によりほ場整備事業の新規採択や早期完工を図るとともに、主要幹線水路の改修などで施設の安全管理に尽力しました。

また、平成19年には、花巻地区土地改良事業促進協議会会長に就任し、これまでの経験に培われた実績を基に、花巻市全体の土地改良事業を着実に推進。さらには、農地流動化による農家の経営規模拡大に尽力するなど、永年にわたり市勢の発展と産業の振興に寄与しました。



平成25年度の市勢功労者表彰式を11月3日、花巻温泉ホテル紅葉館で開催しました。

市勢の発展に大きく貢献したことにより四つの部門で表彰された6人の皆さんは次のとおりです。

平成25年度 市勢功労者表彰



消防部門
藤館 政義 さん
(大迫町大迫・62歳)

昭和44年10月に大迫町消防団大迫分団第4部団員として入団。平成23年4月1日に団長に就任し、平成25年3月31日に退団するまで、43年6カ月の永きにわたり、火災や風水害などに対し昼夜を問わず献身的な活動に努めました。災害現場では、現場指揮本部の最高指揮者として、培った実践体験と技量を十分に発揮。現場に即応する火災防衛に活躍しました。

また、火災予防思想の普及や消防施設の整備、消防教育訓練の充実、消防操法技術の向上、団組織機構の改善、団員の規律保持などにおいて指揮能力を遺憾なく発揮。消防諸般の向上発展に尽力するなど、永年にわたり市勢の発展と市民福祉の向上に寄与しました。



民生安定部門
鎌田 哲子 さん
(西宮野目・67歳)

昭和55年から花巻市手をつなぐ親の会会長として、本市の障がい児および障がい者福祉の向上に貢献。この間、障がい児(者)と市民のふれあいの場「わたぼうし学級・農場」の開所や、障がい者の自立の促進や社会参加を目的とした「わたぼうし農場福祉作業所」および、ふれあいポケット「わたぼうし」の開所に尽力しました。

また、保護者間の交流にとどまらず、本人の活動への支援や勉強会の開催など、会の積極的な運営に努め、平成19年6月の1市3町の同会の合併と、新体制となった「花巻市手をつなぐ育成会」の安定的な運営に尽力。さらには、花巻市地域自立支援協議会委員として、花巻市保健福祉総合計画の策定に尽力するなど、永年にわたり市勢の発展と市民福祉の向上に寄与しました。



産業振興部門
今井 洋一 さん
(湯本・71歳)

平成17年3月、社団法人花巻観光協会副会長に就任し、花巻地域4観光協会の合併に尽力。卓越した指導力により平成19年4月の合併を実現させました。平成20年6月には、社団法人花巻観光協会会長に就任し、これまでの経験により培われた実績を基に外国人観光客の誘致に成果を上げるなど、本市の観光振興に貢献しました。

また、平成25年4月に花巻観光協会が一般社団法人へ移行する際への尽力など、多くの観光施策を先頭に立ってリードするとともに、永年にわたり本市観光振興の発展に尽力し、市勢の発展と産業の振興に寄与しました。



地方自治振興部門
佐藤 かつ代 さん
(西大通り・69歳)

平成3年4月、花巻市議会議員として初当選して以来、通算4期15年余りの永きにわたり、議会活動を通じて市民福祉の向上に寄与。この間、総務、文教厚生、文教福祉、福祉の各常任委員会に所属。特に、平成7年5月から平成9年6月まで文教厚生常任委員会副委員長を、平成9年6月から平成11年4月までは、文教福祉常任委員会副委員長を務め、市民福祉の向上に尽力しました。

また、在任中は、花巻地区広域行政組合議会議員、岩手中部広域水道企業団議員を務めるとともに、花巻市花と緑の都市建設協議会委員や花巻市介護保険事業計画等推進会議委員などの要職を歴任。市民生活の安定と福祉の向上に真摯に取り組むなど、永年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与しました。